

お願い

ガス給湯器や配管の

凍結

寒さが
厳しくなる
季節



ご注意ください!

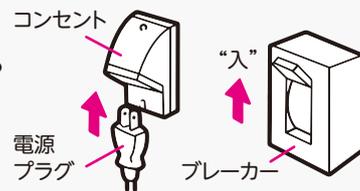
寒い冬の時期、特に気温の下がる夜間や早朝時には、
ガス給湯器や配管内の水が凍結して、お湯が出なくなることがあります。
凍結予防対策をお取りくださいますようお願いいたします。

通常の寒さのとき

1 冬期間はブレーカーを絶対「切」にしないでください。
給湯器の電源プラグも抜かないでください。

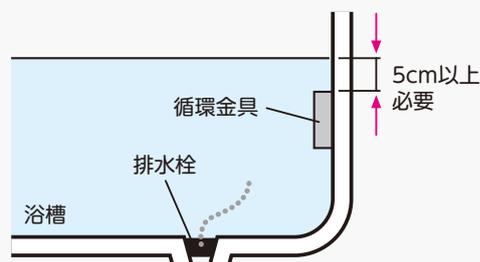
長期間留守にする場合でも、ブレーカーを「切」にする、
または電源プラグを抜くと凍結予防装置がはたらきません。

●お客さまがブレーカーを「切」にされ、凍結した場合の故障は、
有償修理となりますのでご注意ください。



2 浴槽の水は、循環口上部より
5cm以上高い位置にしてください。

浴槽の水を循環して凍結予防をするため、
浴槽の残り湯は捨てずにそのままにしておいてください。



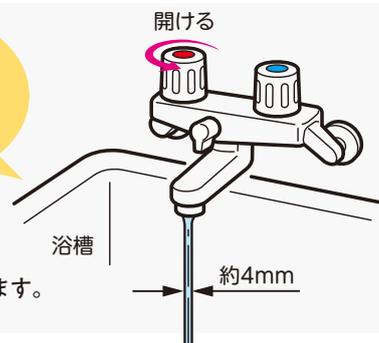
特に冷え込みが厳しい日

[外気温がマイナス5℃を下まわるとき]

3 給湯栓を開け、少量の水
(1分間に約400cc程度…太さ約4mm)を
流し続けてください。

※サーモスタット式混合栓やシングルレバー式混合水栓の場合は最高温度側にします。

浴槽などで
受けると
経済的です



※あくまでも、凍結の予防策です。何らかの理由(水栓バルブの故障や給湯器本体内の残水など)で凍結する恐れがあります。
※ガス給湯器、給水・給湯配管の凍結による故障は、保証期間内であっても有償修理となりますのでご了承ください。



株式会社サンエナジー

TEL.024-952-0387